

島根県感染症情報(週報) 2009年 第51週 (12/14～12/20)

県内感染症情報(概況)

1) 全数報告感染症(1～5類感染症)

結核が1件(浜田圏域)報告されています。

2) 定点報告5類感染症

○インフルエンザ : 県内の1定点医療機関当たりの報告患者数は徐々に減少して20.3となり、ピーク時の第48週と比較し約1/3となりましたが、依然県内全域で流行しています(現在インフルエンザ警報が発令されています)。年齢別では、依然20歳以下の患者が全体の8割以上を占めています。また、閉鎖措置を行った学校数も徐々に減少し、第51週は78校、患者数は788人でした。

○水痘 : 県内全域で流行しています。今後流行は更に拡大すると予測されます。

○感染症性胃腸炎 : 県内全域でウイルス性胃腸炎が流行しています。今後、流行は長期間続くと予測されます。

3) 主な病原体の分離状況等

○インフルエンザ : 新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が検出されています。

○RSウイルス : RSウイルスが検出されています。

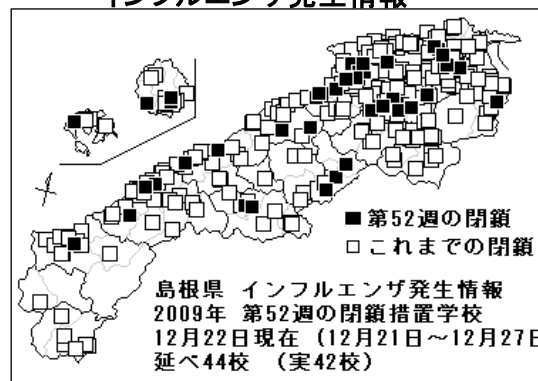
○感染性胃腸炎 : ノロウイルスG2が検出されています。

島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8188
Fax:0852-36-8356

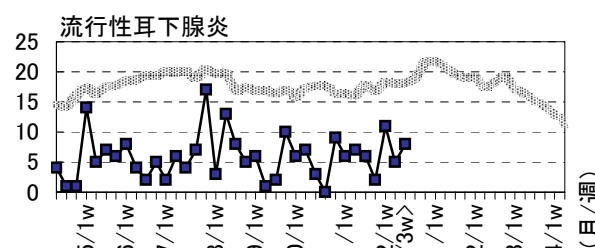
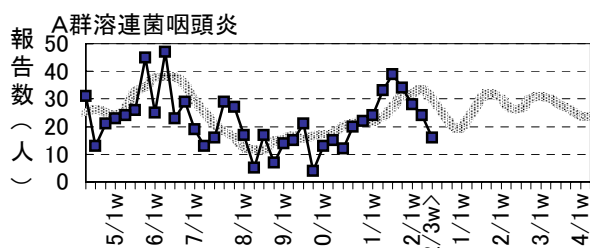
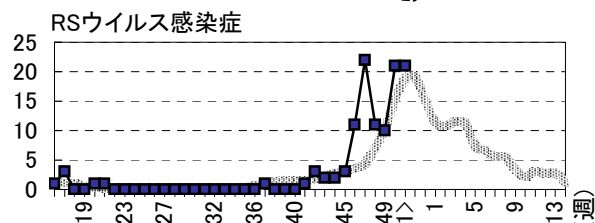
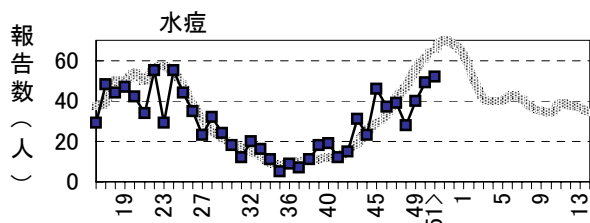
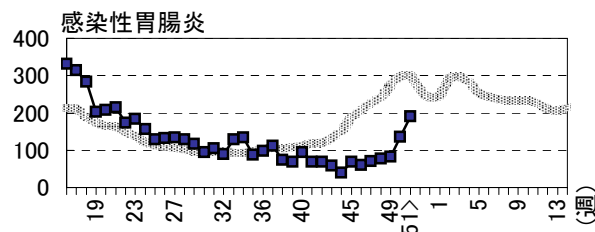
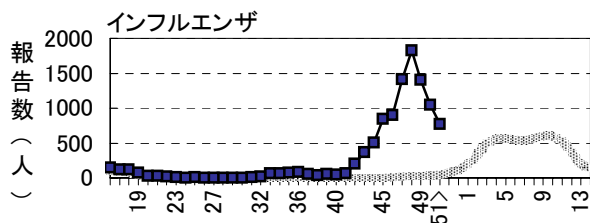
――主な感染症の流行状況――

疾患名	全県	東部	中部	西部
インフルエンザ	⬇️ ◎	⬇️ ◎	⬇️ ◎	⬇️ ◎
感染性胃腸炎	↗️ ○	→ ○	↗️ ◎	→ △
水痘	↗️ ○	→ ○	↗️ ○	→ ○
RSウイルス感染症	→ ◎	→ ○	→ ○	↗️ ○
A群溶連菌咽頭炎	⬇️ △	→ △	⬇️ ○	→ △
流行性耳下腺炎	→ ○	→ △	→ △	→ ○

インフルエンザ発生情報



今週: ◎流行、○やや流行、△散発、×報告なし 過去4週推移: ⬆️急増、↗️増加、⬇️減少傾向、⬇️急減、→横這い



過去5年の平均

島根県

※詳しいグラフ等は、ホームページ <http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/> をご覧ください。